■冊子：中綴じ/綴じなし_B5_見開き2P（紙のサイズ 364 × 257 mm　仕上がりサイズ 182 × 257 mm）

天

生活 "いつまでも元気にお出かけを!"

高齢者や子育て世代が買い物や通院に困らない細やかな移動支援が不可欠です。

坂道の多い二宮町だからこそ、高齢者や子育て世代が買い物や通院に困らない細やかな移動支援が不可欠です。

既存の路線バスの見直しに加え、地域を巡回する低速の電動小型カート(グリーンスローモビリティ=グリスロ)や、コミュニティバスを増台しさらに無償化へ。

誰もが住み慣れた地域で、どこへでも自由に外出できる生活動線を実現します。

そんな買い物の帰り道に、荷物を置いてちょっと一休み。日常のふとした瞬間に寄り添う小さな公園を、歩道の脇や空き地を活かして整備します。この癒しと交流の小さなスペースは、屋根で太陽光発電をして、緊急時に小さな電源を確保し、そっと地域の安全を見守ります。

防災 "東大果樹園跡地を広域防災公園へ!"

東大果樹園跡地を活用して「目に見える安心」を確保します。

災害時の避難所として、近隣の給食センターから温かい食事を迅速提供。 長期避難は空調完備の二宮高校体育館を利用。

人工衛星を利用したWi-Fi通信とデジタル技術を連携し、住民の命を守るための“途切れない連絡手段”を構築。

災害時に地上回線が断絶や混線しても、人工衛星を経由して繋がる通信機能により、家族の安否や正確な情報を共有。

柔軟な対応力を持つ避難先と、地上と人工衛星による二重の通信網を備えて、「目に見える安心」を確保します。



夢 "この町を皆さんの一生の宝物にする!"

二宮の知名度を一気に高める「二宮ドリーム」を巻き起こします!

都会から1時間の好立地を活かし、アグリツーリズム(農業を体験をしたり地産品を味わったりして地域を楽しむ観光)の土壌を確立。農作業体験と再生した空き家での農泊を組み合わせたツアーで、首都圏からの需要に最高の癒しと、「第二のふるさと」での休暇を提供。日帰りから宿泊・移住・定住までを視野に入れて、世代交代の波を起こします。

また、町民センターや機能を廃止した施設を水耕栽培農場へ転換。地元農家が運営を担って地産地消を加速し、いつでも新鮮な食を安価に。使わなくなった施設にも新たな役割を与え、再び価値を見出します。

そして田舎だからと諦めずに、スケボーやフットサルや3on3バスケができる設備を、町内の公園に整備します。また、ラディアンの大スクリーンを舞台にeスポーツ大会を開催。 次世代を見据えたドローン教室やドローン大会を企画し、若者が未来へ羽ばたくチャンスを後押しします。

近隣で活躍する団体等の大きな熱量とも連携しながら、未来のクリエイターやアスリートを育成する取り組みにより、二宮の知名度を一気に高める「二宮ドリーム」を巻き起こします!





※前号で不適切な記載がありましたので訂正の上、お詫び申し上げます。